

平成30年度「見える」安全活動コンクール

工 事 名	伊方発電所敷地造成工事（Ⅱ期）
応募類型	Ⅷ. その他の危険有害性情報の「見える化」
タイトル	バリアセンサーによる橋桁損傷事故防止の見える化

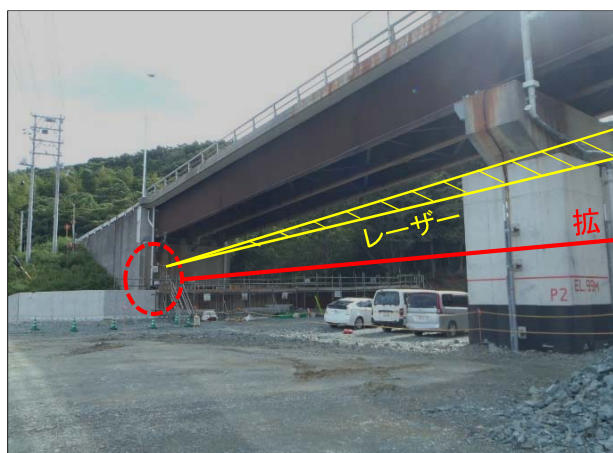
（説 明）

供用中の橋桁下部に「バリアセンサー」を設置し、パトライトによる見える化と警報ブザーにより作業員へ注意喚起を行い、橋桁の損傷事故防止を図った。

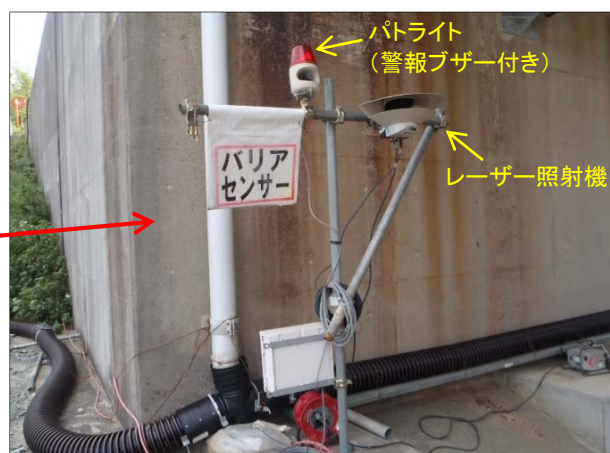


橋桁下部作業場所全景

拡大



橋桁下部作業場所近景



バリアセンサー設置状況

橋桁下部では、  
 ・ポンプ車を使ったコンクリート打設作業  
 ・バックホウを使った盛土作業  
 等がある。

バリアセンサーから発信されるレーザーに  
 重機のブーム等が当たると、パトライトが点灯  
 するとともに警報ブザーが鳴り、機械が橋桁  
 に接近していることを作業員に知らせる。